

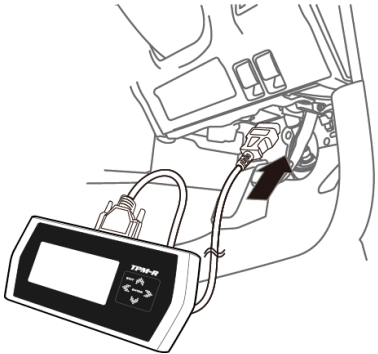
[マツダ] DPF 再生 (例 : ボンゴ SKF2V 2007 年 8 月~)

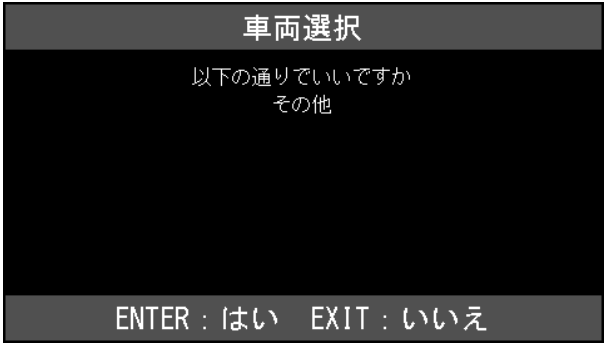

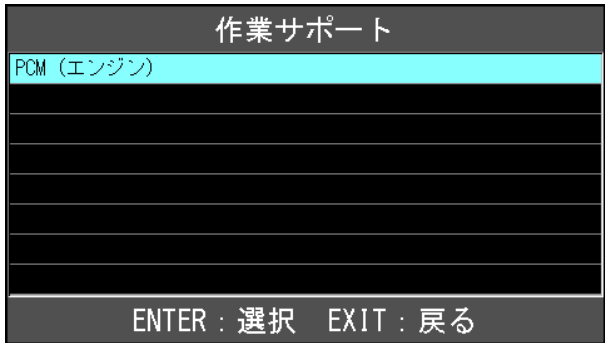
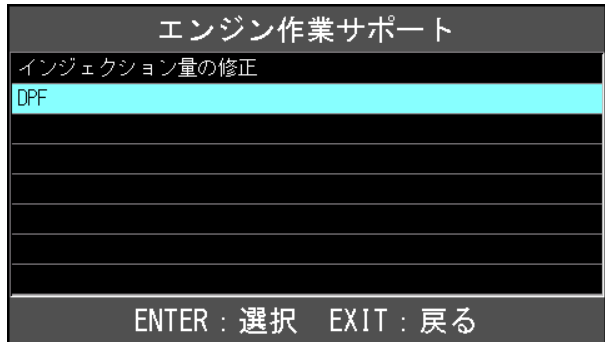
注意 :



- ・ DPF 再生時は触媒や排気ガスが非常に高温になる為、車両付近に燃え移りやすい物を置かないで下さい。
- ・ 作業を実施する際は十分に換気の出来る場所、風通しの良い場所で行って下さい。
- ・ 作業前に暖機運転を行って下さい。

手順/操作

DPF 再生

<p>1.</p>	<p>イグニッションスイッチが OFF である事を確認し、TPM-R を車両に接続します。</p>																	
<p>2.</p>	<p>シフト位置が P ポジションである事 (MT 車はニュートラル) パーキングブレーキが引いてある事を確認し、イグニッションスイッチを ON にします。</p>																	
<p>3.</p>	<p>『メーカー選択』から [国産乗用車]→[マツダ]を選択し[ENTER]を 押して下さい。</p>	<table border="1"><caption>メーカー選択</caption><tbody><tr><td>国産乗用車</td><td>トヨタ/レクサス</td></tr><tr><td>輸入車</td><td>日産/インフィニティ</td></tr><tr><td>国産トラック</td><td>ホンダ/アキュラ</td></tr><tr><td>OBDII</td><td>三菱</td></tr><tr><td>HV整備モード</td><td>スズキ</td></tr><tr><td></td><td>ダイハツ</td></tr><tr><td></td><td>マツダ</td></tr><tr><td></td><td>スバル</td></tr></tbody></table> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	国産乗用車	トヨタ/レクサス	輸入車	日産/インフィニティ	国産トラック	ホンダ/アキュラ	OBDII	三菱	HV整備モード	スズキ		ダイハツ		マツダ		スバル
国産乗用車	トヨタ/レクサス																	
輸入車	日産/インフィニティ																	
国産トラック	ホンダ/アキュラ																	
OBDII	三菱																	
HV整備モード	スズキ																	
	ダイハツ																	
	マツダ																	
	スバル																	

<p>4.</p>	<p>車種の識別を自動で行いますが、年式の古い車両と通信を行った場合は[その他]と表示されます。 [ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>5.</p>	<p>『マツダメインメニュー』から[作業サポート]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>6.</p>	<p>『作業サポート』から[PCM (エンジン)]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>7.</p>	<p>『エンジン作業サポート』から[DPF]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	

<p>8.</p>	<p>『DPF』から[DPF 再生]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	 <p>The image shows a menu titled 'DPF' with several options: '差圧センサ初期化', 'DPF 点検', 'DPF再生', and several blank lines. The 'DPF再生' option is highlighted in cyan. At the bottom, it says 'ENTER : 選択 EXIT : 戻る'.</p>
<p>9.</p>	<p>**重要!!**</p> <p>この機能は車両の状態によって火災や触媒にダメージを与える可能性があります。</p> <p>整備書を確認して内容を十分に理解した上自己責任で行って下さい。</p> <p>内容を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	 <p>The image shows a screen titled 'DPF再生' with a warning message: '** 重要!! **' followed by a paragraph: 'この機能は車両の状態によって火災や触媒にダメージを与える可能性があります。整備書を確認して内容を十分に理解した上、自己責任で行って下さい'.</p>
<p>10.</p>	<p>*イグニッションスイッチを OFF にして下さい。</p> <p>イグニッションを OFF にし[ENTER]を押して下さい。</p>	 <p>The image shows a screen titled 'DPF再生' with an instruction: '* イグニッション スイッチを OFF にしてください。' At the bottom, it says 'ENTER : 次へ EXIT : 中止'.</p>

<p>11.</p>	<p>参考 :</p> <p>この手順の実行中、以下の条件が満足されている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> *この手順を換気の良い場所で行うこと。 *この車両の近くに可燃物を置かないこと。 *ボンネットを開けてこの手順を行うこと。 *すべての電気系統 (A/C、ライトなど) をオフにすること。 *この手順の実行中に、イグニッションスイッチのオフ、スロットルまたはペダルを踏込み、ギヤシフト、などを行わないでください。 <p>内容を確認し条件を全て整え[ENTER]を押して下さい。</p>	<div data-bbox="900 192 1503 533"> <p style="text-align: center;">DPF再生</p> <p>参考 :</p> <p>この手順の実行中、以下の条件が満足されている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> * この手順を換気の良い場所で行うこと。 * この車両の近くに可燃物を置かないこと。 * ボンネットを開けてこの手順を行うこと。 * すべての電気系統 (A/C、ライトなど) をオフにすること。 <p style="text-align: center;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</p> </div> <div data-bbox="900 564 1503 904"> <p style="text-align: center;">DPF再生</p> <ul style="list-style-type: none"> * この手順を換気の良い場所で行うこと。 * この車両の近くに可燃物を置かないこと。 * ボンネットを開けてこの手順を行うこと。 * すべての電気系統 (A/C、ライトなど) をオフにすること。 * この手順の実行中に、イグニッション スイッチのオフ、スロットルまたはペダルを踏込み、ギヤシフト、などを行わないでください。 <p style="text-align: center;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</p> </div>
<p>12.</p>	<p>シフトレバーをニュートラルまたはパーキングの位置にしてください。</p> <p>エンジンを始動し、アイドリングしてください。</p> <p>条件を整え[ENTER]を押して下さい。</p>	<div data-bbox="900 1084 1503 1424"> <p style="text-align: center;">DPF再生</p> <p>シフト レバーをニュートラル または パーキングの位置にしてください。 エンジンを始動し、アイドリングしてください。</p> <p style="text-align: center;">ENTER : 次へ EXIT : 中止</p> </div>
<p>13.</p>	<p>*この機能が作動するのは以下の条件を満足する場合のみです。</p> <p>ECT : 70℃以上 現在値 : 87℃</p> <p>続行しますか？</p> <p>ECT = 冷却水温</p> <p>条件が整っている事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p>	<div data-bbox="900 1509 1503 1850"> <p style="text-align: center;">DPF再生</p> <p>* この機能が作動するのは以下の条件を満足する場合のみです。</p> <p>ECT : 70° C 以上 現在値 : 87 ° C</p> <p>続行しますか？</p> <p style="text-align: center;">ENTER : 実行 EXIT : 中止</p> </div>

<p>14.</p>	<p>手順は進行中です。お待ちください。 この手順は完了するのに最長 80 分かかります。</p> <p>再生が開始され、バーグラフが左から右へ伸びていきます。そのままお待ち下さい。</p>	
<p>15.</p>	<p>*イグニッションスイッチを OFF にしてください。</p> <p>この画面に切替りましたらイグニッションを OFF にし[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>16.</p>	<p>完了</p> <p>以上で作業完了となります。 [EXIT]を数回押し『マツダメインメニュー』まで画面を戻しイグニッション OFF になっている事を再度確認し、安全に TPM-R を取り外して下さい。</p>	